

コロナ危機対策最優先

地元の学校を守ります

責任ある市政運営で市民によりそう市政を

- ① **新型コロナウイルス危機対策最優先**
○いつでも誰でも受けられるPCR検査を
○コロナワクチン接種は、安全に、確実に
○35億円の道の駅周辺整備を凍結し、コロナ
危機対策を最優先します。
- ② **教育・子育て最優先**
○八開地区、立田地区の統廃合計画は白紙に
し、地元の学校を守ります。
○佐屋北保育園を存続させます。
○学校給食を無料にします。
○学校校舎すべてのトイレを洋式化します。
○老朽化した校舎を早急に修繕します。
- ③ **市民のくらし最優先**
○値上げされた施設使用料を見直し、市長権
限で大幅減免します。
○高齢者のタクシードライバーは、どこにでも
行けるようにします。
○新規募集が廃止になった高齢障害者への補
助制度や、ひとりぐらし高齢者の医療費
無料制度を復活します。
○災害時の情報伝達が第一です。防災無線受
信機を各戸に設置します。

市長がかわれば、市政が変わる

松崎省三は、ため込みすぎの貯金167億円を活用し、
市民のいのち・くらし・仕事を守ります。

松崎省三のプロフィール

1946年生まれ 山口県立下関中央工業高校卒業 石川県福井県立高等学校卒業 愛知県愛西市町方町大山田3
現在 党愛知県委員 党尾張南地区委員長 住所 愛知県愛西市町方町大山田3

無所属・日本共産党推せん



無所属

松崎省三

まつざき

しろうぞう

74才

すすめる 決断! とどまる 勇気!

SDGsを推進し未来へつなげる「愛西市」へ

新しい生活様式へのまちづくり

スマート自治体へ 取組

市民、企業等の利便性の向上と多様化するニーズに応えるため、AIなどの先進的な技術を積極的に取り入れながら、更なる市民サービスの向上を図ります。

SDGsの推進

持続可能なまちづくりのため、住む人の温かさや豊かな自然など、愛西市の誇りとなるものを継承する、SDGsに対応したまちづくりを推進していきます。

人と技術の融合

AI・RPAなどのICTを積極的に活用し、市民の手続きの簡素化等の利便性を高める一方、人とのコミュニケーションを重視した温かみのあるサービスを展開します。

曲がることのない日永の約束

将来にむけて

事業・サービスの実施・検証をサイクル化し、社会情勢に対応したスピーディな事業の展開を進めていきます。

防災について

「逃げる」という意識を常に持てるよう、市民の皆様一人ひとりに防災意識の徹底をはかります。

医療・介護について

いつでも自分の健康状態を把握することができる体制づくりをすすめます。

Profile 日永貴章 昭和48年7月3日生

平成 元年	立田村立立田中学校 卒業	平成 15年4月	統一地方選挙において初当選(当時29歳)
平成 4年	愛知県稲沢高等学校農業土木科 卒業	平成 17年4月	愛西市誕生
平成 9年	愛知工業大学土木工学科 卒業	平成 18年4月	愛西市議会議員一般選挙において(2期目)当選
平成 9年	地質コンサルタント会社 入社	平成 22年4月	愛西市議会議員一般選挙において(3期目)当選
平成 14年	社会福祉法人 萬里の会 入職	平成 25年4月	愛西市長選挙に初当選
		平成 29年4月	愛西市長選挙において(2期目)当選



日永貴章

ひながたかあき

無所属

47歳